

# (別紙) 令和5年度 特別の教育課程(立川市民科)の実施状況等について

1. 学校名 立川市立幸小学校

2. 令和5年度 学校における自己評価(箇条書きでご記入ください。)

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童が、自分たちの生活する地域に目を向け、分かったことや調べたことを学習場面に生かすことができるようになった。</li><li>・新たに地域の自然や物、人材などを教材化し、計画的に学習過程に組み込む学年があった。</li><li>・立川市民科公開講座(学習発表会)における発表により、幸小学校での取り組み内容について、広く地域に広めることができた。</li></ul>
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・学年毎の指導計画の見直しは、毎年行っているが、大きな変化は見られない。指導者も児童も、より地域の様子に目を向け、学習内容が地域に根ざしたものになる様、意識を高めていく。</li><li>・「立川夢・未来ノート」の作成と活用は継続してできている。例示された5つの要素について、6年間でどのように取り組むことができているか、本年度は調査をし、今後につなげていく。</li></ul>

3. 令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
45.8%	38.8%	10.9%	4.5%	0%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
34.9%	39.6%	9.5%	0%	16.0%

4. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

自己評価結果、学校関係者評価結果の公表 URL

<http://www.tachikawa-edu.jp/es13/wysiwyg/download/1/2>